市長の財政方針について

1 令和4年度予算編成について

昨今の本市を取り巻く環境は大きく変化しており、 新型コロナウイルス感染症、風水害・南海トラフ地震 等の自然災害への対応に加え、人口減少、少子高齢化 問題など、取り組むべき課題も山積しており、また、 財政健全化という課題にも直面しております。

現在の本市の財政状況につきましては、普通交付税の段階的な縮減等の影響により、平成28年度から収支不均衡が続いており、そのため財政調整基金及び減債基金を取り崩しての財政運営を余儀なくされております。今後も人口減少等による普通交付税、市税等の歳入の減少が見込まれる中、収支均衡を図るため歳出における一般財源の抑制に一層取り組んでいかなければなりません。

こうした状況を踏まえ、将来世代への過度な負担を 残さない持続可能な財政基盤の確立を図るため、令和 2年3月に「佐伯市行政経営推進プラン」を策定し、 5年後、10年後を見据えた行財政改革に取り組んでいるところであります。

国が策定した令和4年度地方財政計画においては、一般財源総額は、約62兆円で前年度水準並みが確保されております。そのうち本市の一般財源総額の約38パーセントを占める地方交付税については、前年度比3.5パーセントの増額となっております。一方で、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債は、国と地方の折半対象財源不足が解消されたことから前年度比67.5パーセントの減額となり、これらの合計で約3兆1,000億円の減額となっている状況であります。

本市の歳入につきましては、令和3年度の決算見込みにより市税のうち個人市民税、固定資産税等で約1億9,700万円の増収を見込んでおり、市税全体では前年度比約2億800万円、2.9パーセントの増額を見込んだ予算としております。普通交付税につきましては、先ほど申し上げました国の地方財政計画で増額となっていることから、前年度比4億円増額の150億円を見込ん

でいますが、臨時財政対策債は、前年度比8億円の減額としております。

こうした中、令和4年度予算につきましては、真に市民のニーズにあった事業の推進と財政健全化の両立を図りながら、地域振興基金、まちづくり整備基金、ふるさとさいき応援基金等の特定目的基金を積極的に活用し、「さいき7つの創生」の実現に向けた予算編成を行ったところであります。

私は、常々「3年種まき、5年で花を咲かせ、10年で実を採る。」と申し上げてまいりましたが、これからが「花を咲かせる」重要な時期と考えており、「さいきオーガニック憲章」の理念に基づく「さいきオーガニックシティ」の推進、すなわち、持続可能な「まちづくり・ひとづくり・ものづくり」を進めるため、経済・社会・環境の三側面が連携・調和・発展する市政を運営し、市民・企業・行政が一体となった「さいき7つの創生」の実現に取り組む所存であります。

2 令和4年度予算の概要について

令和4年度の一般会計予算の総額は、426億4,000万円であります。また、特別会計予算の総額は226億822万8,000円、企業会計予算の総額は54億2,411万6,000円であります。

このうち、「令和4年度佐伯市一般会計予算」につきまして、その概要を「さいき7つの創生」に従い、御説明いたします。

(1) 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生

本市の豊かな自然環境を活用し、「日本一の花のあるまちづくり」を基本理念に、花を通じた市民総参加による美しい地域環境づくり、市内外から訪れた方々が四季折々の花を楽しめる花の名所づくり等により「さいき花の楽園構想」を推進してまいります。さらに、「佐伯市緑の基本計画」に基づき、公園が不足している八幡地区に新たに公園を整備いたします。

また、災害に強いまちづくりへの取組といたしまして、令和6年度から県内共同運用の開始が予定されて おります消防通信指令システムの整備に取り組んでま いります。

(2) 暮らしと産業を支える生活基盤の創生

中心市街地の活性化を図るため、オープンから1年 2か月で来館者30万人を達成したさいき城山桜ホール を中心に、市民・地域を巻き込んだ多種多様なイベン トに加えて、令和4年度からは、これまでの「さいき 春まつり」を「さいき桜まつり」に変更して開催し、 にぎわいの創出を更に加速させたいと考えておりま す。

あわせて、中長期的な中心市街地の在り方を示した「市街地グランドデザイン」の実現に向け、クラウドファンディングを活用し、地域活性化に資する施設等を整備する事業者に対し、その費用を助成するなど、民間の活力・知恵による魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、道路インフラにつきましても、国の交付金や整備に適した市債等を活用し、市内一円の道路・橋梁の整備に継続して取り組むほか、東九州自動車道の4

車線化の早期実現に向けて取り組んでまいります。

(3) 健康で安心して暮らせる共生社会の創生

新型コロナウイルス感染症対策の重要な柱であるワクチンの追加接種につきましては、医師会等と連携し、市民の皆様ができるだけ早期に安心して接種を受けることができるよう、必要な体制の確保に取り組んでまいります。

子どもたちが健やかに育つまちづくりにつきましては、保育所等における保育補助者の雇用に必要な費用を助成することにより、保育士、保育所等の負担を軽減するとともに、保育の質を向上させ、幼児教育・保育の充実に努めてまいります。

また、子育て世代包括支援センターの運営、産後ケア事業に加えて、新たに産婦健康診査事業を実施することにより、妊娠期から子育て期までにわたる切れ目のない支援を行ってまいります。

(4) 人が学び、人が活き、人が育つ教育の創生 新たな事業としまして、向上心を持って勉学等にいそ しもうとする生徒・学生が経済的な理由により就学を 断念することがないよう、給付型奨学金の給付を行っ てまいります。

また、さいき創生につながる人材の育成を目的に、 児童・生徒の「学びに向かう力」を育成するため、専 門的な講義による教職員の資質向上、学力定着状況調 査の実施、さいき創生人材育成基金を活用した奨学金 の返還支援、学校の課題を明確にし、具体的な目的・ 手立てを持って解決に向かう主体性を持った学校づく り等に取り組んでまいります。

市民文化の創造につきましては、大分県が国民文化祭レガシー事業として取り組む、日中韓3か国の文化交流事業「2022東アジア文化都市事業」の一環として、日韓の弦楽コンサート及び3か国の屋台イベントを開催し、文化芸術及び食文化の交流を図ります。

(5) 地域資源をいかした産業と観光の創生

農業の振興につきましては、「さいきオーガニック シティ」実現の柱となる有機農業に関する技術支援、 有機農業者の拡大に向けた取組、流通環境の構築等を行うほか、力強い経営体の育成による園芸産地の発展を図るため、新規就農者等が行う施設整備等への支援及び企業参入の促進による担い手不足対策に取り組んでまいります。

林業の振興につきましては、国からの森林環境譲与税を活用し、未整備森林の解消及び森林整備の促進を図り、森林を健全で適正な状態に整備するための取組を進めてまいります。また、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度の開催が中止となった「全国乾しいたけ振興大会inオーガニックシティさいき」を8月に開催いたします。

水産業の振興につきましては、赤潮対策として、入 津湾湾口部の2か所において作れい工事を行い、海水 交換の向上及び湾内の底質改善を図るほか、県内トッ プの出荷量を誇るブリ養殖において、環境に配慮した 赤潮対応型の養殖手法の確立に向けた取組を行ってま いります。 観光産業の振興につきましては、さいきツーリズム 戦略に基づき、食や自然、地域の特色をいかした観光 プロモーションの展開、サイクルツーリズムの促進、 観光産業の創生等により国内誘客の推進に取り組んで まいります。

(6) 人が交流し、活力あふれるまちの創生

人口減少、高齢化など様々な環境の変化に伴い、これまでのような地域コミュニティの存続が厳しい状況となる中、地域課題を解決するため、新たな地域コミュニティづくりを推進し、あわせて、モデル地域から公民館のコミュニティセンター化に向けた取組を行うほか、佐伯市民大学「令和四教堂」を通じて、市民協働のまちづくりを担う人材の育成に取り組んでまいります。

また、国際交流の推進につきましては、ベトナム及び台湾を対象に、アフターコロナの経済交流及び誘客につながるよう、現地でプロモーション活動を行うこととしております。

さらには、進学、就職等によって、卒業後に市外へ 転出することが多い高校生世代に対して、地元佐伯の 「ひと・もの・こと」に触れる機会や場所を創出する 取組を行ってまいります。

(7) 地域が輝くまちの創生

佐伯創生推進総合対策事業により、引き続き、各地域の特色をいかし、人口減少や高齢化の著しい地域の活性化、地域住民の安全・安心の確保、伝統芸能・伝統文化の保存と継承等に取り組むほか、上浦地域の豊後二見ヶ浦において、ガバメントクラウドファンディング、企業版ふるさと納税等を活用し、遊歩道を整備する取組に対して支援してまいります。

以上が「さいき 7 つの創生」を推進するための主な 取組でありますが、このほか、総合計画の基本指針に 基づく事業としまして、市民サービスの充実等を基本 とした効率的・効果的な行財政運営を行うため、RPAの 導入・活用による作業の自動化、タブレット端末の導 入による庁内会議のペーパーレス化及び行政手続のデ ジタル化等による行政事務のスマート化を推進してまいります。

以上が令和4年度一般会計予算の概要でございま す。